

仕 様 書

- 1 件 名 一般財団法人救急振興財団サーバーの更新
- 2 場 所 ■東京都八王子市南大沢 4 丁目 6 番地
一般財団法人救急振興財団事務局執務室内（以下「事務局」という。）

■福岡県北九州市八幡西区大浦 3 丁目 8 番 1 号
救急救命九州研修所執務室内（以下「九研」という。）
- 3 目 的 一般財団法人救急振興財団（以下「財団」という。）に設置する ActiveDirectory
サーバー（事務局 1 台、九研 1 台）、ファイルサーバー（事務局 1 台、九研 1 台）、
会計サーバー（事務局 1 台）、及び 17 インチラックコンソール（事務局 1 台、
九研 1 台）を調達し、必要なソフトのインストールと設定を行い、その保守を
委託する。
但し、会計サーバーへの会計ソフトウェアのインストール、設定、会計ソフト
ウェア保守においては財団が個別に調達する。
- 4 概 要
 - (1) サーバー機及びクライアント機の設定と設置
当仕様の要件を満たすサーバー機（事務局に 3 台、九研に 2 台）を設置し、サーバー
機及び既設のクライアント機のユーザ設定作業を含むキッティングサービスを行うこ
と。
 - (2) サーバーの保守と設定
キッティングサービスを行ったサーバー機に障害発生した場合や設定変更の必要性
が起きた場合には事務局又は九研に来所し、障害の原因等を特定して、サーバー機に関
わる原因等であれば、直ちに復旧させ、ネットワークの障害が原因であれば、別途契約
するネットワーク保守契約者と調整し、速やかに業務を継続可能な状態とすること。
 - (3) リース形態
令和 4 年 1 2 月 1 日から令和 9 年 1 1 月 3 0 日までのファイナンスリース契約（5 年）

とし、サーバーは貸方に帰属するものとする。

(4) バックアップ等

BCP の観点より、事務局及び九研のファイルサーバーの各データを双方向でレプリケーションし、災害時等は、各拠点からすぐにデータを引き出せる状態にしておくこと。

(5) 完成図書

導入機器のラック図、導入機器のネットワーク配線図、導入機器一覧表及び各種マニュアル等の完成図書を提出すること。

5 設置内容

(1) 機器の調達

- ①メーカーは原則、国内製造メーカーに限る。
- ②サーバー本体はラックタイプに限る。

(ア) ActiveDirectory サーバー仕様

- ①OS は Windows Server 2019 Standard を搭載したものであること。
- ②CPU は Xeon Silver 4215 2.50GHz 以上であること。
- ③メモリは 16GB 以上を搭載していること（純正品に限る。）。
- ④HDD は SAS で 2.5 インチ 10Krpm 300GB 以上を 3 本搭載し、RAID 5 で構成すること。
- ⑤DVD-ROM ドライブを搭載していること。
- ⑥80Plus Platinum 搭載の高効率電源ユニットを採用していること。
- ⑦電源の冗長化をしていること。
- ⑧管理コンソール (SVOM 等) を使用し、遠隔地サーバーの設定可能な機能を搭載しているサーバーであること。また障害通知等も多彩な方法を搭載していること。
- ⑨実機写真による表示で視認性を向上できる管理ツールを持っていること。
- ⑩過去 1 年の消費電力のグラフ表示が可能なこと。
- ⑪停電時に備え Smart-UPS1500 等の無停電電源装置を設置すること。また自動シャットダウン等のスケジュール管理ができるアプリケーション (PowerChute 等) を添付すること。
- ⑫台数を 2 台とし、事務局及び九研に ActiveDirectory サーバーを設置し、九研側の ActiveDirectory サーバーをセカンダリとすること。
- ⑬納入後、すぐに使用できるようにネットワーク、ウィルス対策ソフト、バックアップの設定および調整を行うこと。

- ⑭既存のサーバーより全ての機能、設定情報及びデータを移行し、正常に動作するよう設定すること。合わせて新たに指示する設定についても同様に設定を行うこと。
- ⑮5年間のハードウェア当日訪問修理対策を行うこと。また年2回の定期訪問を行い、ハードウェアの点検・HDD 空き容量・UPS 動作確認・バックアップの取得状況等の確認を行うこと。
- ⑯バックアップ用として、実容量 12TB 以上(RAID5 想定)の NAS を装備し、バックアップはイメージバックアップを使用して、バックアップを取得すること。
- ⑰システムボード上にモジュールやコンポーネントの異常・故障を通知する LED があること。

(イ) ファイルサーバー仕様

- ①OS は Windows Server 2019 Standard を搭載したものであること。
- ②CPU は Xeon Silver 4215 2.50GHz 以上であること。
- ③メモリは 32GB 以上を搭載していること (純正品に限る。)
- ④HDD は SAS で 2.5 インチ 10Krpm 2.4TB 以上を 6 本搭載し、RAID 5 で構成すること。
- ⑤DVD-ROM ドライブを搭載していること。
- ⑥80Plus Platinum 搭載の高効率電源ユニットを採用していること。
- ⑦電源の冗長化をしていること。
- ⑧管理コンソール (SVOM 等) を使用し、遠隔地サーバーの設定可能な機能を搭載しているサーバーであること。また障害通知等も多彩な方法を搭載していること。
- ⑨実機写真による表示で視認性を向上できる管理ツールを持っていること。
- ⑩過去1年の消費電力のグラフ表示が可能なこと。
- ⑪停電時に備え Smart-UPS 1500 等の無停電電源装置を設置すること。また自動シャットダウン等のスケジュール管理ができるアプリケーション (PowerChute 等) を添付すること。
- ⑫台数を 2 台とし、事務局及び九研にファイルサーバーを設置し、事務局及び九研の各データを双方向でレプリケーションを行うこと。
- ⑬ウィルス対策ソフトをサーバーへ導入し、サーバーからパターン配信できる環境に設定すること。また納入後、すぐに使用できるようにネットワーク、ウィルス対策ソフト、バックアップの設定および調整を行うこと。
- ⑭既存のサーバーより全ての機能、設定情報及びデータを移行し、正常に動作するよう設定すること。合わせて新たに指示する設定についても同様に設定を行うこと。

- ⑮ 5年間のハードウェア当日訪問修理対策を行うこと。また年2回の定期訪問を行い、ハードウェアの点検・HDD 空き容量・UPS 動作確認・バックアップの取得状況等の確認を行うこと。
- ⑯ バックアップはイメージバックアップを使用して、バックアップを取得すること。
- ⑰ クライアント PC120 台分の CAL を用意すること。
- ⑱ 九研のファイルサーバー領域については個別にバックアップの手段を施すこと。
- ⑲ システムボード上にモジュールやコンポーネントの異常・故障を通知する LED があること。

(ウ) 会計サーバー仕様

- ① OS は Windows Server 2019 Standard を搭載したものであること。
- ② CPU は Xeon E-2274G 4GHz 以上であること。
- ③ メモリは 16GB 以上を搭載していること（純正品に限る。）。
- ④ HDD は SAS で 2.5 インチ 15Krpm 300GB 以上を 3 本搭載し、RAID 5 で構成すること。
- ⑤ DVD-ROM ドライブを搭載していること。
- ⑥ 80Plus Platinum 搭載の高効率電源ユニットを採用していること。
- ⑦ 電源の冗長化をしていること。
- ⑧ 管理コンソール (SVOM 等) を使用し、遠隔地サーバーの設定可能な機能を搭載しているサーバーであること。また障害通知等も多彩な方法を搭載していること。
- ⑨ 実機写真による表示で視認性を向上できる管理ツールを持っていること。
- ⑩ 過去 1 年の消費電力のグラフ表示が可能なこと。
- ⑪ 停電時に備え Smart-UPS1500 等の無停電電源装置を設置すること。また自動シャットダウン等のスケジュール管理ができるアプリケーション (PowerChute 等) を添付すること。
- ⑫ 5年間のハードウェア当日訪問修理対策を行うこと。また年2回の定期訪問を行い、ハードウェアの点検・HDD 空き容量・UPS 動作確認・バックアップの取得状況等の確認を行うこと。
- ⑬ バックアップはイメージバックアップを使用して、バックアップを取得すること。
- ⑭ ウィルス対策ソフトの設定および調整を行うこと。
- ⑮ 財団内のネットワークに接続できるようにすること。
- ⑯ ターミナルサーバーとしての機能を持たせること。
- ⑰ Remote Desktop CAL を拠点台数が余裕をもって接続できる分用意すること。

- ⑱システムボード上にモジュールやコンポーネントの異常・故障を通知する LED があること。

(エ) 17 インチラックコンソール仕様

- ①17 インチラックコンソール 2 台（事務局及び九研に各 1 台設置）
- ②コンソール・スイッチ 2 台（事務局及び九研に設置し、事務局の 3 台のサーバー及び九研の 2 台のサーバーをそれぞれ接続すること。）

(2) 設置に関する共通事項

- ①各機器に関しては既存のラックに設置し、各機器との接続を行うこと。
- ②対象機器等の機能を実現するためにネットワーク配線・電源工事が必要な場合、受注者の負担で実施すること。
- ③対象機器の正常動作に必要な一切の機器に関しては受注者が用意すること。
- ④ソフトウェアに関しては製品指定とする。但し、対象機器が正常に動作することが保障されていない製品である場合には協議の上変更することができるものとする。
- ⑤搬入設置作業で出た梱包材は受注者が引き取るものとする。
- ⑥搬入、搬出、機器設置・調整に係る一切の経費は本契約に含むものとする。
- ⑦各サーバーに関しては年 2 回の定期点検を行い、作業報告書を提出すること。点検内容は、ハードウェアの点検、HDD 空き容量の確認、UPS の動作確認、バックアップソフトの状況の確認、ウィルス対策ソフトの稼働確認とし、専門のサービスマンが対応すること。
- ⑧各サーバーに関しては稼働状態でのシステム全体のバックアップを行い、障害時に迅速に復旧できるようにすること。
- ⑨納品作業は休日に行い、業務に支障をきたさないこと。
- ⑩イベント等でエラー表示がないようにすること。
- ⑪ActiveDirectory で管理をさせるため、ドメイン参加をさせること。

(3) 保守

- ①5 年間の保守期間を設けること。
- ②電話連絡により障害の報告を受けた場合は、速やかに電話対応により適切なサポートを行うこと（月～土 9：00～21：00）。
- ③電話連絡による障害報告に基づき障害の切り分けを行うこと。電話対応により解決できない障害内容が発生した場合は、速やかに事務局又は九研に来所し、業務を継続可能な状態とすること。

- ④調達物品に対する保守及び技術支援を行うための保守・支援体制が確立しており、統一的な連絡体制が整っていること。
- ⑤サーバー構成、システム環境等の情報に基づき、サーバー環境設定シートを作成すること。
- ⑥サーバーハードウェア障害時のパーツ交換及び OS・基本ソフトウェアの再インストールは、サーバー環境設定シートの記載内容に基づき、基本設定作業を実施すること。
- ⑦サーバーのシステム再構築が必要な場合、取得したバックアップデータのリストア作業を実施すること。
- ⑧迅速な対応を必要とするため、保守作業員は事務局及び九研近隣地区に事業所を持つものに限る。
- ⑨サーバー機器には機器エラーの検知機能と保守部門への発報機能を有すること。
- ⑩故障修理を実施した場合は、速やかに次の項目等を記載した保守等報告書を2部作成し、担当者に提出の上、確認及び記名押印を受けた後、1部を財団、1部を保守業者の控えとすること。
 - ア 保守実施日時
 - イ 設置場所名称等
 - ウ 対象機器名
 - エ 作業内容
 - オ 故障原因
 - カ 部品交換実施の有無及び実施の場合の交換内容（数量及び交換個所等）
 - キ 保守担当者名
 - ク 特記事項（必要のある場合に限る）